

公共

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
社会	公共	2	2年 文系・理系	「私たちの公共」 清水書院 706	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を入れながら構想したことを議論する力を養う ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う
学習の進め方	<p>中学校までの既習事項を理解している前提で、講義、配付プリントを中心に授業展開する。教科書を暗記することに頼らず、授業中の話をよく聞き、出てきた疑問点を解決していく「知の探究」を心掛け、プリントやノートでのまとめ方を工夫するなど有効に活用することでより深い理解が得られる。</p> <p>夏期課題として「JICA 国際協力エッセイコンテスト」に参加する</p>
評価対象・方法	定期試験、授業、小テスト、課題、提出物を評価対象とし、総合的に評価する。
受講に向けての心構えと準備	日常的に新聞、テレビニュースなどに親しみ、政治・経済・社会などの時事問題に関する知識・理解を深める。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	第1部 公共の扉 第1章 社会で生きるとのこと 第2章 みんなが幸せな社会とは？	1 私たちと青年期, 2 私たちと社会, 3 人間の社会と文化 1 よく生きるとは？徳, 2 幸福な社会とは？功利主義, 3 幸福な社会とは？正義の原理 Activity 1 生命と科学技術の問題と倫理 Activity 2 環境問題と人間の活動	時数目安 10時間
	中間試験		
	第3章 公共的な空間における基本原理 第2部 より良い社会の形成と参画 第1章 私たちの生活と法	1 個人の尊重と社会, 2 民主主義・立憲主義, 3 法はなぜ必要なのか Activity 3 社会のルールについて考えよう！ How to 公共1 「候補者男女均等法」の是非について「平等」の視点から考察する 1 個人と法, Activity 4 消費者の権利と義務 2 平等に生きる権利, 3 自由に生きる権利, 4 人間らしく生きる権利, 5 新しい人権	時数目安 10時間
期末試験			

二 学 期	第2章 私たちの生活と政治	1 日本の統治機構, 2 国会のしくみとはたらき, 3 内閣のしくみとはたらき, 4 行政機関としての国の役割と体制, 5 裁判所のしくみとはたらき, 6 紛争解決のしくみ Activity 5 模擬裁判をやってみよう! 7 地方自治の役割と現状, 8 選挙のしくみ, 9 政党と政治参加, 10 民主政治の原理と世論 Activity 6 地域の課題を解決する取り組み	時数目安 10 時間
	中間試験		
	第3章 平和主義と日本 第4章 私たちの生活と経済	1 日本の平和主義と憲法 Activity 7 平和を守ろう! 2 日本の外交と平和な社会の構築 Activity 8 世界平和について考えてみよう! How to 公共2「憲法改正」の是非について, 幸福, 平等, 公正の視点から考えよう 1 私たちの生活と経済活動 2 市場経済のしくみ 価格を決める要因 Activity 9 市場経済の機能と限界 3 企業の経済的役割 Activity 10 職業選択/キャリア教育 4 国民所得と私たちの生活 5 政府の経済的な役割	時数目安 11 時間
期末試験			
三 学 期	第4章 私たちの生活と経済 第5章 私たちの生活と国際社会	6 税金と国債を考える 7 金融機関の役割 Activity 11 金融のはたらき 8 労働と雇用 よりよいはたらき方をめざして Activity 12 雇用と労働 9 社会保障制度の意義 Activity 13 財政・租税の役割/社会保障 1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際機関 3 平和な国際社会をめざす 4 グローバル化する社会 Activity 14 経済のグローバル化と相互依存 5 発展途上国の経済成長と地域的な経済統合 6 持続可能な国際社会 Activity 15 国際社会で貢献しよう! How to 公共3水をめぐる問題 SDGs を参考として, 日本の立場(個人・国家)でどのような解決策を考えられるだろう	時数目安 14 時間
	学年末		